





東北大学  
人事労務・環境安全・施設担当理事  
事業支援機構長  
総合技術部長

## 下間 康行

Shimotsuma Yasuyuki

### 総合技術部年報第4号の発行に寄せて

本学では、教育研究支援体制の一層の充実に資することを目的として、平成21年度に部局の枠を超えて全学的視点に立つて技術職員の能力向上や適正配置を図るために総合技術部を設置し、25年度からは6つの職群を基礎とした人事管理、各種研修等を実施しています。

28年度には、全学的な技術支援として技術相談窓口の設置を行い、研究成果への顕著な貢献があった職員を表彰する総長研究支援技術賞を設けました。また、29年度の全学機構改革により、総合技術部は事業支援機構の一翼となりました。

30年度に運営委員会のもとに人事制度検討小委員会を設置し、設置から10年を迎えようとする総合技術部の教育研究支援体制の検証に取り組み、部局を越えて全学的に活躍する技術職員を評価する新しい人事評価制度を導入しました。さらに31年度に人事制度検討小委員会を発展解消して人事小委員会を設置し、これからの国立大学の変革に柔軟に対応しつつ、高いパフォーマンスを発揮できる仕組みと人材づくりを進めているところです。本年報がこれからの総合技術部の発展の一助となり、関係者の皆様から更なるご理解をいただけるものとなりますことを期待しております。

東北大学 事業支援機構  
総合技術部 副部長

## 猪狩 佳幸

Igari Yoshiyuki

### 総合技術部の活動報告第四号をお届けいたします

総合技術部の各種活動状況を学内の皆様にご知らせするために、Annual Review 2014-15、Annual Review 2015-16、Annual Review 2016-17と発行し、今年度は第四号として、Annual Review 2017-19を発行いたします。

総合技術部では、全学支援及び複数部局兼務を推進するための制度設計に取り組んでいます。2018年度、総合技術部運営委員会に人事制度検討小委員会を設置し「本学が求める技術職員の人材像の明確化と、技術職員の適正な人事配置(戦略的な人事配置)の実現に向けて」をテーマに全学的視点から技術支援の在り方を検討し、報告書にまとめました。人事制度検討小委員会では、部局単位での人事評価制度を全学一元化した制度へと修正いたしました。そして、この人事制度検討小委員会を発展解消し、2019年4月から人事小委員会を設置し、1)適正な人事配置のための情報収集、2)適正配置のための指標の設定、3)適正な人事配置案の作成、4)その他、技術職員人事に関することについて検討を進めてきています。本格実施となった新しい人事評価制度を活用し、人事評価面談から適正な人事配置につながる技術支援の現場の情報の収集を始めました。

まだ、道半ばではありますが、総合技術部が真に全学一元組織として機能するよう努めて参ります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたしたいと存じます。



## 沿革

東北大学は10学部、15研究科、3専門職大学院、6つの研究所を擁する総合大学です。

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/about/01/about0101/>

総合技術部は再雇用職員も含め総勢352人で、専門技術ごとに6つの職群を構成し21部局に配置され、高等教育と最先端研究を支えています。活躍の場は、仙台市内にある4つの大きなキャンパスだけでなく、遠隔地の施設にまで至ります。

6つの職群では、それぞれに専門技術研修を企画・実施して研究支援のための技術力の向上と技術職員同士の部局間連携の強化を図っています。

また総合技術部では、職群の他に組織運営を担う部会を設置しています。総務を担当する総務・組織・人事・企画担当部会、研修を統括する研修担当部会、対外広報だけでなくキャンパスに広く分布する技術職員同士の一体感を形成するための部内広報も司る広報担当部会、技術職員の国際化に力を注ぐグローバル環境部会、よりよい職場環境を作るためハラスメントやメンタルヘルス問題の啓発を行う男女共同参画担当部会などを通じて全学的な活動も展開しています。

年号	年	月	部長	副部長	事項	備考
21	2009	4	橋本	伊藤	総合技術部設置	現職場へ勤務命令が出る 統括技術専門員の職を発令
		7			総合技術部への配置換発令 研修企画小委員会設置	
22	2010	2	折原		統括技術専門員選考等小委員会設置	統括技術専門員、技術専門員、技術専門職員への 昇任推薦者を決定
23	2011	3			東日本大震災発災	
23	2011	4	甲野		統括技術専門員会議設置	
24	2012	7			第1回統括技術専門員会議開催	
25	2013	2	岩瀬	柴崎	個人調査の聴取開始	
		4			職群制度(6職群)スタート	
		11			総合技術部優秀発表賞(技術部長賞)を設置 総合技術部パンフレット制作WG発足(5名)	
26	2014	1	明野		職群代表を設置(1月1日岩瀬部長)	
		6			総合技術部パンフレット「417分の1」発行	
27	2015	2	明野		総合技術部webサイトリニューアル(情報群)	
3	部内報「WAZA-ALL」創刊					
27	2015	4			広報部会発足	総合技術部パンフレット制作WG 発展解消 女性技術職員部会 発展解消 英語研修スタート
28	2016	3			男女共同参画部会発足	
28	2016	4	三浦		グローバル環境部会発足	webサーバー管理、webサイト移管
		3			総合技術部webサーバー構築担当設置(情報群選出)	
29	2017	4			総合技術部相談窓口開設(職群代表が担当)	職群所属はそのまま
		11			事業支援機構総合技術部へ組織改編、配置換辞令交付 2020年度東北大学総合技術研究会(仮) 実行委員会準備委員会	
30	2018	3	大槻		総合技術研究会2021東北大学実行委員会事務局発足	
30	2018	4	佐藤和		総合技術研究会2021東北大学実行委員会発足	見直し中の人事評価制度の更なる改正 部長・副部長・職群代表が評価者となる新しい 人事評価制度の試行開始 技術職員の配置の指標を示し、発展解消
		5			人事制度検討小委員会発足	
		9			部局長連絡会議への副部長の陪席始まる	
		10			新人事評価制度試行開始	
		12			人事制度検討小委員会報告書	
31	2019	1			人事小委員会発足	令和へ元号が変わる 新人事評価制度の試行の検証 個人カルテの作成開始 部長・副部長・職群代表が評価者に、職群副代表が 評価補助者に 原則全技術職員に参加を指示 技術職員の全学的視点からの適正配置案(予定)
31	2019	4			人事小委員会	
1	2019	5	下間	猪狩	新人事評価制度本格始動	
		10			総合技術部職員研修(総合技術研究会プレ大会)開催	
		11			人事小委員会 中間報告(予定)	
2	2020	10			人事評価制度のWeb化(予定)	
3	2021	3			総合技術研究会2021東北大学 開催予定	

総合技術部カレンダー 2017-18-19

		会議等	技術研究会・東北地区研修・総合技術部研修	部会研修会・採用活動・他
2017年	11月	9日 教育研究系技術職員 人事評価制度検討WG	1日 [2021※] 準備委員会第1回会議	
		8日 8回職群代表会議	17日 総合技術部技術職員研修	
		8日 8回統括技術専門員会議	29日 [2021] 準備委員会第2回会議	
	12月	14日 第4回教育研究系技術職員 人事評価制度検討WG	22日 [2021] 第1回検討課題抽出作業部会	
		20日 第9回職群代表会議		
		20日 第9回統括技術専門員会議		
1月	17日 第10回職群代表会議	25日 [2021] 第2回検討課題抽出作業部会		
	31日 第3回総合技術部運営委員会	31日 [2021] 広報作業部会報告		
2月	21日 第11回職群代表会議	26日 [2021] 準備委員会第3回会議	5日 [研修] 第2回男女共同参画部会研修	
	28日 第2回組織担当部会		9日 [採用] 第2回東北大学職員 採用内定者懇談会	
3月	20日 第12回職群代表会議	6日 [2021] 第1回事務局会議	4日 [採用] オープンセミナー	
	22日 第5回総合技術部運営委員会	28日 [2021] 第2回事務局会議	9日 [研修] グローバル環境部会報告会	
4月	18日 第1回統括技術専門員会議	11日 [2021] 第3回事務局会議		
	27日 第1回総合技術部運営委員会	26日 第1回東北地区国立大学法人等 術職員研修実行委員会		
5月	16日 第2回職群代表会議	9日 [2021] 第4回事務局会議		
	21日 第1回法人試験採用事務局会議			
2018年	6月	4日 第2回総合技術部運営委員会	6日 [2021] 第5回事務局会議	14日 [研修] 第1回広報部会研修 「総合技術部の広報活動とは ～技術部広報の組織作りと 各コンテンツ発行の現場から」
		13日 第2回法人試験採用事務局会議		
		20日 第3回職群代表会議		
		26日 総務・企画・人事担当、組織担当、 人事評価制度担当 3部会合同会議		
7月	3日 第2回人事制度検討小委員会	11日 [2021] 第6回事務局会議	19日 [採用] 法人採用試験1次試験合格発表	
	18日 第4回職群代表会議			
	23日 法人試験採用事務局会議			
8月	22日 第5回職群代表会議	9日 [2021] 第7回事務局会議		
	13日 総務・企画・人事担当、組織担当、 人事評価制度担当 3部会合同会議	18日- 21日 平成30年度東北地区国立大学法人等 技術職員研修	9/26 - 2/13 [研修] グローバル環境部会 「技術者のための英会話術 初級」 (全18回)	
9月	26日 第6回職群代表会議		9/27 - 2/14 [研修] グローバル環境部会 「技術者のための英会話術 準中級」 (全18回)	
	10日 第4回人事制度検討小委員会	9日 [2021] 第8回事務局会議	1日 [採用] 第1回内定者懇談会	
10月	17日 第7回職群代表会議		16日 [研修] 第1回男女共同参画部会研修 ～就業規則と勤務時間管理システム～	

		会議等	技術研究会・東北地区研修・総合技術部研修	部会研修会・採用活動・他
2018年	11月	21日 第8回職群代表会議	14日 [2021] 第9回事務局会議	
		21日 第8回統括技術専門員会議	21日 [2021] 実行委員会だより01号発行	
	12月	5日 総務・企画・人事担当、 組織担当、人事評価制度担当 3部会合同会議	11日 [2021] 第10回事務局会議	5日 [研修] 第2回男女共同参画部会研修 ～職場のハラスメント防止気づいていますか？ その言動はハラスメントです～
		19日 第9回職群代表会議	28日 [2021] 実行委員会だより02号発行	[採用] 業務研究会
		19日 第9回統括技術専門員会議		
		25日 第5回総合技術部運営委員会		
1月	16日 第10回職群代表会議	30日 [2021] 第11回事務局会議	16日 [広報] 総合技術部パンフレット発行	
	16日 第10回統括技術専門員会議		[研修] グローバル環境部 会学外派遣研修技術英語セミナー 「伝わる「技術英語」習得セミナーⅡ (中級編)」	
2月	8日 第6回総合技術部運営委員会	6日 [2021] 仙台国際センター内覧会	1日 [採用] 第2回内定者懇談会	
	20日 第11回職群代表会議	12日 [2021] 実行委員会だより03号発行 [2021] チラシ配布 末 [2021] クリアファイル作成	8日 [研修] 第3回男女共同参画部会研修 ～メンタルヘルス不調に 陥らないためのセルフケア～	
3月	20日 第12回職群代表会議	1日 [2021] 第12回事務局会議	5日 [研修] グローバル環境部会講演会	
	20日 第12回統括技術専門員会議	29日 [2021] 第13回事務局会議	9日 [採用] 東北地区国立大学法人等 オープンセミナー	
4月	25日 第7回総合技術部運営委員会		31日 [広報] WAZA-ALI Vol.5発行	
	10日 第1回職群代表会議			
	24日 第1回人事小委員会			
2019年	5月	15日 第2回職群代表会議	10日 [2021] 第14回事務局会議	5/8 - 2/19 [研修] グローバル環境部会 「技術者のための英会話術 初級」 (全36回)
		15日 第2回統括技術専門員会議		5/9 - 2/20 [研修] グローバル環境部会 「技術者のための英会話術 準中級」 (全36回)
	19日 第3回職群代表会議	10日 [2021] カレンダー配付 [2021] 実行委員会だより04号発行		
6月	19日 第3回統括技術専門員会議	28日 [2021] 第15回事務局会議		
	17日 第4回職群代表会議		11日 [採用] 法人試験採用事務局会議	
7月	17日 第4回統括技術専門員会議			
	21日 第3回人事小委員会		5日 [採用] 職場見学会	
8月	21日 第5回職群代表会議		[採用] 法人採用試験2次試験一次選考	
	21日 第5回統括技術専門員会議			
9月	18日 第6回職群代表会議		10日 [採用] 法人採用試験最終選考	
	18日 第6回統括技術専門員会議			
10月	16日 第7回職群代表会議			
	16日 第7回統括技術専門員会議			

※『総合技術研究会2021東北大学』 東北大学総合技術部主催 2021年3月3～5日開催予定



## 総合技術部運営委員会

総合技術部運営委員会は、『東北大学事業支援機構総合技術部運営委員会内規』に基づいて設置され、総合技術部職員の人事及び配置等人事方針に関する事項、研修等に関する事項、その他総合技術部の運営に関する重要事項を審議・承認します。同委員会は総合技術部長及び技術職員が配置されている部局の教授・准教授21名並びに総合技術部副部长・各職群代表等の技術職員8名と人事企画部長で構成され、年に4～5回、開催しています。

## 職群代表会議

職群代表会議は、総合技術部の管理・運営を担う、いわゆる司令塔的な役割を持つ会議です。職員採用や異動調整等の人事に関する事、総合技術部の予算や活動方針などの企画立案を行います。同会議は総合技術部の管理職的立場である総合技術部副部长及び職群代表6名で構成され、毎月1回、開催しています。

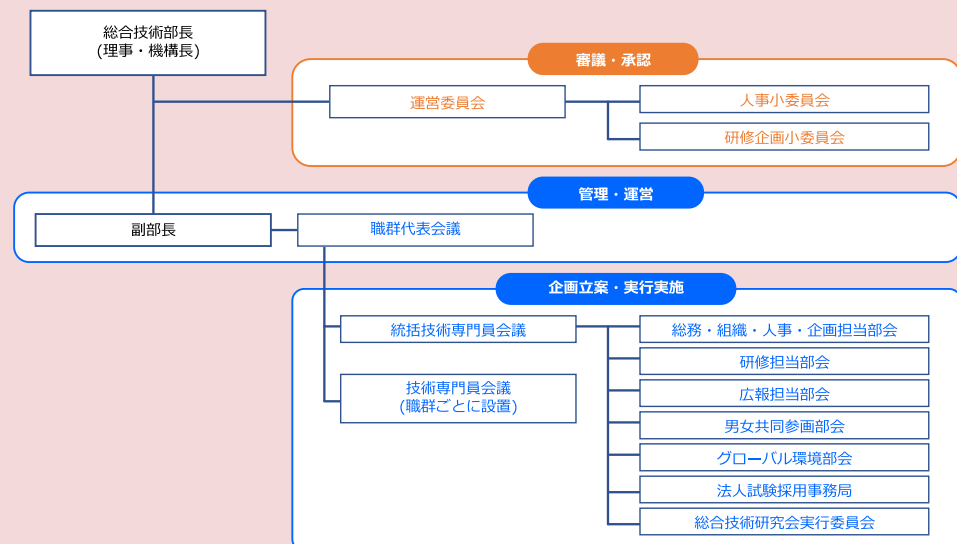
## 統括技術専門員会議

統括技術専門員会議は、『統括技術専門員会議及び技術専門員会議の設置に関する内規』に基づいて設置された会議です。総合技術部の活動に係る行事等を企画立案し、具体的に実行・実施していきます。同会議は統括技術専門員11名だけでなく、同会議の議長である総合技術部副部长が必要と認める技術専門員並びに技術専門職員若干名で部局網羅的に構成され、毎月1回、開催しています。

## 技術専門員会議

技術専門員会議は、統括技術専門員会議と同様に『統括技術専門員会議及び技術専門員会議の設置に関する内規』に基づき各職群に設置され、職群専門研修その他職群に係る事項について、企画立案し実行・実施していきます。同会議は各職群の職群代表及び副代表並びに技術専門員で構成され(職群によっては部局代表者として技術専門職員等も参画)、職群毎に随時開催しています。

## 事業支援機構 総合技術部 組織・運営体制



## 総務・組織・人事・企画担当部会

活動実績としては、2017年から新しい人事評価制度の策定に着手し、2018年10月から新しい人事評価制度の試行実施、さらに試行の検証を経て、2019年10月から新しい人事評価制度を実施しました。また、2019年度から新たに総合技術部の海外研修参加公募を行いました。今後の課題は、人事評価制度のWeb化を進めることです。

## 研修担当部会

2017年11月17日(金)  
平成29年度(2017年度)東北大学総合技術部職員研修  
2018年9月18日(火)～21日(金)  
平成30年度(2018年度)東北地区国立大学法人等技術職員研修



実技研修「ミニ消波ブロックの制作」

2017年度は東北大学総合技術部としての研修を実施し、2件の講演、ポスター発表及び職群報告を行いました。ポスター発表には「総合技術部職員研修優秀発表賞」を授与しました。2018年度は東北地区国立大学法人等技術職員研修の当番校として金属材料研究所を主会場に口頭発表、ポスター発表および各職群による実技研修を行いました。今後、マンネリ化した研修を、充実した実践的な研修として実施する必要があります。

## 広報担当部会

毎年発行している総合技術部 部内報 WAZA-AIIをvol.4、vol.5と着実に進め、2018年度には特に職員採用を目的として総合技術部紹介パンフレットの大幅改訂を行いました。課題となっている総合技術部ホームページの充実については、まだ大きな改善に至っていませんが、その役割や機能の再検討を行っている最中です。また、多くの技術職員に広報関係の業務に関心を持ってもらうべく、2018年6月に部会主催の研修も実施しました。

## 男女共同参画部会

前年度実施の研修時に行うアンケートの意見を参考に当該年度の研修内容を検討しています。2018年度第1回目の研修として、特定社会保険労務士の先生を講師としてお招きし「アンコンシャス・バイアスという言葉、皆さんご存知ですか」(12月13日(金)、参加者39名)を実施しました。1月29日(水)に発達障害に関する研修、2月28日(金)にはメンタルヘルスに関する研修を実施予定です。



## グローバル環境部会

グローバル環境部会では、留学生・外国人研究者とのコミュニケーション能力向上を目的に2015年度から民間の技術英語セミナーへの派遣研修を継続しています。さらに2016年度からは、外国人講師による「技術者のための英会話術(初級)」を開始しました。2017年度に準中級を加え受講生にテキストを配布し、2019年度より研修の回数を年18回から36回に増やしました。また、各研修受講者は、講演会で研修成果を報告しています。



「技術者のための英会話術」研修の様子

## 加工・開発群

### 【活動実績】

加工・開発群の機械・ガラス・光器械の11工場の職員で、技術力向上を目的とした各種研修を開催しています。2019年4月には東北大学の産学連携への協力として産学連携先端材料開発センター(MaSC)の「第6回MaSC技術交流会」を加工・開発群共催で開催しました(全参加者80名)。「イノベーションを支える匠の技」のテーマで学外企業4件と加工開発群6件の技術紹介の講演とパネルディスカッションで今後の産学の技術協力等について意見交換を行いました。

### 【研修】

- 2017年度  
3月15日 新仙台火力発電所施設見学会：参加者40名
- 2018年度  
1月24日 JXTGエネルギー株式会社 仙台製油所施設見学会
- 2019年度  
4月17日 第6回MaSC技術交流会「イノベーションを支える匠の技」共催：参加者30名



### 【部局代表者会議】

- 2018年度  
5月18日
- 2019年度  
5月10日

### 【相談窓口件数】

5件

## 電子回路・測定・実験群

### 【活動実績】

電子回路・測定・実験群は、職員間で相互の業務内容を理解するための全体研修を中心に、技術的な専門研修、学外研修を実施しています。本群は、性質上多岐にわたる業務支援が行われており、他職群との共催や他大学との合同開催など職群を超えた様々な研修を行い技術の向上と職員の交流を図っています。また、2019年度からは、より専門的な研修とするために8つのグループに分けて、グループ研修を実施しています。グループの編成については、職員の要求やニーズに合わせて効果的な組み合わせを検討して予定です。

### 【研修】

- 2017年度  
2月 19日 自然科学総合実験に係わる学生実験支援研修 生物・生命群共催：参加者22名
- 2018年度  
7月 20日 電子回路・測定・実験群全体研修 40名  
1月 16日 試料作製技術の研修 2名  
3月 15日 東北大学 電子回路・測定・実験群/東京工業大学合同研修：参加者32名
- 2019年度  
7月3-5日 半導体プロセス講習会(分析・評価・観測群との共催)：参加者5名  
7月 19日 電子回路・測定・実験群技術研修：参加者41名  
7月 23日 グループ研修 暑い夏を乗り切るための智慧：参加者6名  
7月19-26日 グループ研修 セメント製造技術と最終処分廃棄物の受け入れ：参加者6名  
10月 3日 職群新人研修：参加者3名



### 【専門員会議】

- 2017年度  
11月10日、3月12日
- 2018年度  
4月25日、8月29日、12月25日
- 2019年度  
4月17日、9月6日

### 【相談窓口件数】

5件

## 分析・評価・観測群

### 【活動実績】

職群の全員が集まれる全体研修は毎年実施しています。また各グループによる研修、学外で実施されている研修に派遣を行っています。2019年度は、特定の業務に特化した専門的な研修を企画しました。第1回としてICP発光分析に関わる研修を企画し、その業務を行っている職員で、作業手順や前処理作業技術の向上を図りました。全学支援としては、技術相談対応や各部局にて支援を行っています。

### 【研修】

- 2018年度  
6月 29日 【学外派遣研修】SEM試料観察用前処理セミナー：参加者1名  
7月 13日 800MHzNMR分光分析・ICP発光分析&総合技術部の技術支援セミナー：参加者58名  
7月 25日 平成30年度分析・評価・観測群全体会：参加者51名  
9月6-7日 【学外派遣研修】平成30年度秋田大学機器・分析技術研究会：参加者3名  
10月 26日 【学外派遣研修】国立大学法人機器・分析センター協議会：参加者1名  
10月 19日 計量における不確かさの評価について：参加者27名  
11月 22日 電子顕微鏡グループ専門研修：参加者25名
- 2019年度  
6月~ 【新人研修】透過電子顕微鏡の取り扱い：参加者1名  
7月3-5日 半導体プロセス講習会(電子回路群との合同研修)：参加者12名  
7月23-25日 ICP発光法をはじめとする元素分析のための試料前処理技術実技研修：参加者2名  
8月 8日 令和元年度分析・評価・観測群全体研修：参加者41名  
10月 2日 MALDI質量分析装置セミナー：参加者14名  
10月10-11日 【学外派遣研修】ブルカージャパン(株)固体NMR研修：参加者1名



### 【専門員会議】

- 2017年度  
10月30日、12月18日、2月7日
- 2018年度  
5月14日、5月23日、6月7日、6月12日、7月20日、11月30日
- 2019年度  
4月26日、7月10日、9月5日

### 【相談窓口件数】

8件

## 生物・生命科学群

### 【活動実績】

生物・生命科学群は、業務連携を見据えた部局横断的な技術交流と個々のスキルアップを目指し、「部局間交流技術発表会」や「定例会(全体研修)」、「学外派遣研修」等の専門研修を実施しています。一方、全学支援として特筆すべきは、顕微鏡撮影のための特殊な培養細胞の試料作製指導や動物飼育室のクリーンアップ技術指導、マウスの取扱いや実験手技の技術指導などを職群として行い、教育研究支援と技術継承の視点からも大きな実績を挙げています。

### 【研修】

- 2017年度  
2月 19日 自然科学総合実験に係わる学生実験支援研修：参加者22名  
3月 23日 平成29年度生物・生命科学群定例会(全体研修)：参加者30名
- 2018年度  
7月 6日 第1回部局間交流技術発表会：参加者28名  
9月20-21日 缶詰製造実習 -保存性を付与した食品の製造-：参加者9名  
11月5-7日 マウス生殖工学技術研修(胚・精子の凍結保存、体外受精等)：参加者1名  
平成30年度生物・生命科学群定例会(全体研修)：参加者50名
- 2019年度  
8月 2日 第2回部局間交流技術発表会及び見学会：参加者30名  
8月 8日 第2回CST研究会 -Cadaver Lab運営と固定法-：参加者1名  
9月4-6日 製薬企業の薬用植物園の視察：参加者2名  
9月11-12日 ビバットセミナー(片平地区)：参加者40名



### 【専門員会議】

- 2017年度  
12月18日
- 2018年度  
6月1日、12月20日
- 2019年度  
5月31日

### 【相談窓口件数】

2件

## 情報・ネットワーク群

### 【活動実績】

教育・研究の支援のみならず、今の時代のインフラとなっているネットワーク環境を安定運用するため、今年度は「AIとは-今のAIに出来ること、出来ないこと-」、「進化するコンピュータウイルスとエンドポイントセキュリティによる対策」の2件の学内研修を実施し、11月には学外研修「製造現場におけるLAN活用技術(ルーティング編)セミナー」に3名を派遣しました。

### 【研修】

- 2017年度  
10月25日 動画コンテンツ制作の基礎-基本的な撮影技術・編集などの実際について：参加者25名  
12月12日 若手職員研修：参加者29名
- 2018年度  
4月26日 海外研修報告会：参加者31名  
8月31日 動画コンテンツ制作の基礎-2-シーン別の撮影と取り込み・編集・変換作業について：参加者12名
- 12月 6日 ネットワーク仮想化技術AMFを利用したネットワーク管理について：参加者15名
- 2019年度  
5月24日 AIとは-今のAIに出来ること、出来ないこと-：参加者33名  
11月28日 進化するコンピュータウイルスとエンドポイントセキュリティによる対策：参加者23名



### 【専門員会議】

- 2017年度  
4月21日、9月7日
- 2018年度  
5月14日、11月6日
- 2019年度  
6月13日、8月22日、12月2日

### 【相談窓口件数】

2件

## 安全・保守管理群

### 【活動実績】

安全群では全学支援にむけた準備段階として、安全衛生管理のスタンダード化に取り組みました。研修や報告会を通じて、部局間の情報交換を行い、安全衛生業務のレベル格差などの縮小に努めました。全学支援の一環の兼務として、核・放射線管理Gが他部局の施設廃止のサポートを継続しました。

### 【研修】

- 2017年度  
2月14日 安全・保守管理群技術専門研修 寒剤、高圧ガスの安全教育：参加者28名  
3月 5日 安全・保守管理群専門研修 核・放射線管理：参加者16名
- 2018年度  
6月12日、15日、7月30日 平成30年度安全・保守管理群 初任者研修：参加者1名  
7月 1日 平成30年度安全・保守管理群全体研修：参加者37名  
11月 6日 平成30年度安全・保守管理群専門研修 高圧ガス充填工場見学会：参加者22名  
1月15日 平成30年度安全・保守管理群専門研修 安全衛生管理業務専任者専門研修 およびフォローアップ研修の合同研修：参加者16名
- 3月23-24日 第2回衛生管理者ステップアップ研修会：2名派遣  
会場：筑波大学東京キャンパス  
主催：日本産業衛生学会関東地方会 衛生管理者の集う会 合同会社アール
- 2019年度  
7月11日 令和元年度第1回安全・保守管理群研修 職群全体研修：参加者36名



### 【相談窓口件数】

1件



